

2008年6月作成(第1版)

貯法: 気密容器、室温保存
(約0℃で凍結するが
室温に温めると澄明
に溶解する。)

日本標準商品分類番号
8 7 2 6 1 6
承認番号等
Z2000AMX00333
薬価収載
2008年6月
販売開始
2008年8月

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落としした後、ベンザルコニウム塩化物0.05～0.1%溶液(本剤の100～200倍希釈液)に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で拭拭する。術前の手洗の場合には、5～10分間ブラッシングする。
手術部位(手術野)の皮膚の消毒	手術前局所皮膚面をベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)で約5分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.2%溶液(本剤の50倍希釈液)を塗布する。
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚、粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液(本剤の400～1000倍希釈液)を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液(本剤の1000倍希釈液)を用いる。
医療機器の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)に10分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、器具を予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)中で15分間煮沸する。
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	ベンザルコニウム塩化物0.05～0.2%溶液(本剤の50～200倍希釈液)を布片で塗布・拭拭するか、または噴霧する。
腫洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02～0.05%溶液(本剤の200～500倍希釈液)を用いる。
結核菌の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.05%溶液(200～1000倍希釈液)を用いる。

希釈して使用すること

日本薬局方

10% ベンザルコニウム塩化物液

逆性石ケン液10% 三恵

Benzalkonium Chloride Solution

18ℓ

製造番号

使用期限

【組成・性状】

本剤100mL中に、ベンザルコニウム塩化物10gを含有する(10W/V%)。無色～淡黄色澄明の液で、特異なにおいがあり、振ると強く泡立つ。

【作用】

本剤は使用濃度において、芽胞を除くグラム陽性菌、グラム陰性菌、真菌等には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

製造販売元

株式会社 三恵薬品

愛知県豊橋市入船町21番地

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
 - (2) 炎症又は刺激性の部位(粘膜、陰股部等)に使用する場合には、正常な部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
 - (3) 深い創傷又は眼に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
2. 副作用(本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない)過敏症: 発疹、そう痒感等の過敏症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。
3. 臨床検査結果に及ぼす影響
本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。
4. 適用上の注意

(1) 人体

- 1) 経口投与しないこと。洗腸には使用しないこと。
- 2) 眼液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 3) 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
- 4) 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋力弱さ起こすことがある)。
- 5) 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

(2) その他

1) 調製方法

- ア. 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には通常用いる濃度の1.5～2倍の溶液として使用すること。
- イ. 綿維、布(綿、ガーゼ、ワール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。

2) 使用時

- ア. 血清、胆汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等を用いる場合には、十分に洗い落とすしてから使用すること。
- イ. 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
- ウ. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

3) 器具等材質

- ア. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、液装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。
- イ. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するためにベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)に0.5～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- ウ. 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので、使用しないこと。

